

【件名】

西武新宿線（中井駅～野方駅間）連続立体交差事業について

【要旨】

本事業は東京都が事業主体となり、鉄道事業者・中野区が連携して、西武新宿線の中井駅付近から野方駅付近までの約2.4kmについて鉄道を地下化し、道路と鉄道を連続的に立体交差化するものである。当事業の現在の進捗について報告する。

1 事業名称

東京都市計画都市高速鉄道事業西武鉄道新宿線（中井駅～野方駅間）

2 事業者

東京都

3 事業期間

平成25年4月1日～令和9年3月31日

4 事業の概要

延長：事業区間 約2.4km

構造形式：地下形式

駅施設：新井薬師前駅 ホーム延長約170m、ホーム幅員約7～8m

沼袋駅 ホーム延長約170m、ホーム幅員約4～9m

除却踏切数：7箇所

5 事業の進捗

（1）用地取得率（令和5年3月末時点）

約98%

（2）施工状況（主なもの、令和5年11月時点）

別紙の通り。

6 その他

（1）事業費の変更

物価上昇、仮設工事の施工計画変更などにより事業費の変更を行った。

全体事業費約1,219億円（当初約726億円、+493億円）

うち都市側負担額約820億円（当初約540億円、+280億円）

うち中野区負担額約 123 億円（当初約 73 億円、+50 億円）

(2) 事業費増加の主な要因（約 493 億円）

○用地費の増加：約 30 億円

・地価の上昇による増加

○工事費の増加：455 億円

・資材価格や人件費の高騰：約 220 億円

・シールド工事費：約 20 億円

・施工計画変更及び想定外支障物撤去による工事費の増加：約 215 億円

○調査設計費他：約 8 億円